

令和元年度第2回野田市老人福祉計画及び  
介護保険事業計画推進等委員会次第

日 時 令和元年11月20日(水)  
午後1時30分から  
場 所 市役所 8階大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 「介護予防10年の計」の実施状況について (公開)

(2) 指定介護予防支援業務の委託について (公開)

(3) 介護医療院の開設許可等について (報告) (公開)

(4) 地域密着型サービス (地域密着型通所介護) 事業所の指定更新について (報告)  
(非公開)

(5) その他

4 閉 会

「介護予防 10 年の計」の実施状況について

1 「介護予防 10 年の計」

「介護予防 10 年の計」は、野田市の高齢者の介護予防に関する知識の向上を目指し、シルバーリハビリ体操を中心とした六つの戦略を柱とした新たな一般介護予防事業です。

【「介護予防 10 年の計」の六つの戦略】

- (1) シルバーリハビリ体操
- (2) のだまめ学校
- (3) えんがわ
- (4) 市民ボランティア
- (5) 介護予防サポート企業
- (6) 広報戦略

2 令和元年度上半期（4 月～9 月）実施状況等

(1) シルバーリハビリ体操

シルバーリハビリ体操初級指導士を養成する講習会（6 日間）を 7 月に実施し、10 人の初級指導士を養成しました。また、初級指導士をサポートするため、毎月初級指導士のフォローアップ教室を実施し、初級指導士の質の向上を図りました。

◎シルバーリハビリ体操初級指導士養成講習会の実施状況（表 1）

	実施日	会 場	養成数
第 10 回	7 月 8 日～7 月 29 日	保健センター4 階 のだまめ学校（408 会議室）	10 人

◎シルバーリハビリ体操初級指導士養成数（表 2）

実施年度	養成講習会実施回数	養成数
平成 29 年度	3 回	83 人
平成 30 年度	6 回	88 人
令和元年度	1 回	10 人
合 計	10 回	181 人

◎シルバーリハビリ体操・体験教室の実施状況（表3）

実施内容	令和元年度（4月～9月）		＜参考＞平成30年度（4月～3月）	
	実施回数	参加者数	期間実施回数	参加者数
体操教室	238回	4,793人	262回	7,677人
体験教室	66回	1,428人	24回	347人

※ 体操教室：指導士が地域で開催したもの  
 体験教室：市が開催したもの

(2) のだまめ学校

保健センターで「のだまめ学校」の全講座を網羅する本講座、本講座の中から市民の要望に応じて身近な場所に出前する出前講座を実施しました。

また、のだまめ学校の新規利用者参加者の募集のため、8月20日から9月20日まで「秋から始める健康習慣スタンプラリー」及び特別講演会を実施しました。

◎ のだまめ学校の実施状況（4月～9月）（表4-1）

		講座回数	新規登録者数	参加人数（延）	参加人数（実）	1講座当たりの平均参加者数
合 計		345回	239人	6,717人	694人	19.47人
内 訳	本講座	263回	—	5,553人	302人	21.11人
	出張本講座	45回	—	612人	186人	13.60人
	出前講座	37回	—	552人	376人	14.92人

＜参考＞平成30年度のだまめ学校の実施状況（表4-2）

		講座回数	新規登録者数	参加人数（延）	参加人数（実）	1講座当たりの平均参加者数
合 計		704回	790人	10,889人	1,139人	15.47人
内 訳	本講座	500回	—	8,267人	583人	16.53人
	出張本講座	121回	—	1,342人	262人	11.09人
	出前講座	83回	—	1,280人	701人	15.42人

◎「秋から始める健康習慣スタンプラリー」及び特別講演会実施状況（表5-1）

		講座回数	新規登録者数	参加人数（延）	参加人数（実）	1講座当たりの平均参加者数
合 計		81回	26人	1,976人	230人	24.4人
内 訳	本講座	67回	—	1,760人	195人	26.3人
	出張本講座	14回	—	216人	97人	15.4人

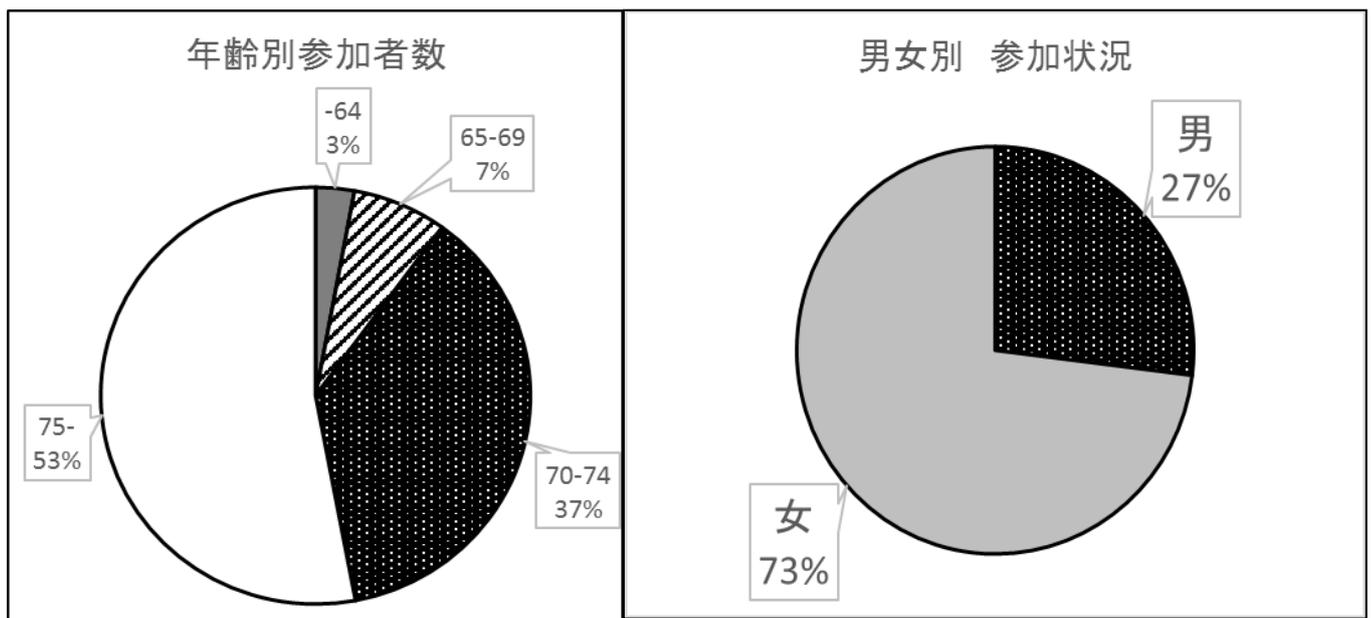
### (3) えんがわ

「えんがわ」は、高齢者の方々が中心となって、お住まいの地域で地域の方々とふれあうことが出来る通いの場のことです。地域住民が活動主体となって、地域にある集会所などを活用して、体操などの軽運動や、お茶を飲みながらの歓談、趣味活動など、様々な活動を行い、人と人とのつながりを通じて高齢者の社会における孤立の防止を図ることを目的としています。

平成 30 年 9 月に「えんがわ」を開設する方への補助金交付規則を整備し、同年 10 月より「えんがわ」の開設が始まりました。

◎えんがわの実施状況（表 6）

令和元年度（4月～9月）			＜参考＞平成 30 年度（10月～3月）		
開設箇所数	参加人数	1回あたり平均参加者数	開設箇所数	参加人数	1回あたり平均参加者数
12 か所	1,376 人	13.9 人	7 か所	743 人	17.7 人



### (4) 市民ボランティア

オリジナル体操作成委員（えだまめ体操）、ボランティアポイント制度の介護支援ボランティア、野田市介護予防サポートボランティアの会の介護予防サポーター、シルバリーハビリ体操指導士及びのだまめ学校ボランティアの支援・養成を実施しています。

◎ボランティア養成状況（表7）

ボランティア名	ボランティア数	
	令和元年度	平成30年度
オリジナル体操作成委員（えだまめ体操）	4人	4人
介護支援ボランティア	275人	268人
介護予防サポーター	65人	67人
シルバーリハビリ体操初級指導士	181人	171人
のだまめ学校ボランティア	152人	152人

(5) 介護予防サポート企業

介護予防に資する取組を行う企業に事前に登録いただくことで、「介護予防10年の計」及び「介護予防サポート企業」の名称・ロゴマークが使用可能となります。

今年度新たに4月に2企業、7月に1企業にご登録をいただき、市の介護予防事業にご協力いただいています。

◎介護予防サポート企業の実施状況（表8）

登録企業名	活動内容
パルシステム千葉 のだ中根店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗内イートインスペースを活用したシルバーリハビリ体操教室の実施（月2回）</li> <li>・「2019 野田中根店・野田センターまつり」におけるシルバーリハビリ体操実演、のだまめ学校紹介ブースの出展</li> <li>・のだまめ学校本講座講師</li> </ul>
医療法人社団 桃和会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門倉医院2階イベントスペースを活用した健康講和の実施</li> <li>・同スペースを活用したシルバーリハビリ体操の実施</li> </ul>
スポーツクラブ&スパ ルネサンス野田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー世代のスポーツ施設無料体験</li> <li>・のだまめ学校講師派遣</li> <li>・シルバー世代の機能改善イベント</li> </ul>
医療法人社団真療会 野田病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーリハビリ体操の普及（指導士養成講習会、フォローアップ研修への講師派遣、体験教室の活動支援）</li> <li>・オレンジカフェの定期開催（認知症に対する集いの場の提供、相談、啓発活動）</li> </ul>

## (6) 広報戦略

商標登録した「介護予防 10 年の計」の共通ロゴマーク、普及啓発ポスター及びPR映像、今年度新たに作成した「介護予防 10 年の計」のパンフレットを活用し、「介護予防 10 年の計」を広報したほか、シルバーリハビリ体操の考案者である大田仁史医学博士による講演会等を実施しました。

また、東京理科大学の柳田 信也准教授に御協力いただき、市報のだ（毎月 15 日号）に掲載しているコラム「シリーズ・介護予防 10 年の計」のより詳細な情報を「介護予防のヒント（元気に過ごすためのちょっといい話）」として市ホームページに掲載しています。

### ◎講演会開催状況（表 9）

開催年月日	演題	講師	来場者
令和元年 5月29日	人生100年時代をどう生きる？ ～シルバーリハビリ体操と介護予防の意味～	大田仁史 医学博士	188人

### ◎介護予防のヒント（元気に過ごすためのちょっといい話）

市報掲載	内容	ホームページ検索番号
市報のだ4月15日号	筋肉は年とともに萎縮する	1022504
市報のだ5月15日号	加齢で萎縮しない筋肉もある	1022504
市報のだ6月15日号	熱中症からからだを守ろう	1023037
市報のだ7月15日号	暑い日は室内で運動	1023230
市報のだ8月15日号	身体を動かして脳を活性化！	1023513
市報のだ9月15日号	太陽と身体の関係	1023775

### ◎商標登録をした「介護予防 10 年の計」ロゴマーク

介護予防年の計<sup>®</sup>

 シルバーリハビリ体操

 のだまめ学校

 えんがわ

 市民ボランティア

 介護予防サポート企業

 広報戦略

### 3 介護保険事業計画に記載した「自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標」に係る自己評価結果

#### (1) シルバーリハビリ体操

##### ① 目標の評価方法

- ア 指標となっている、指導士の養成数と体験教室の実施回数で事業を評価した。
- イ 「シルバーリハビリ体操」体験教室等の参加者からアンケートをとり、事業の効果を評価した。

##### ② 目標、実績及び自己評価結果

評価項目	目標（年間）	実績	評価
指導士養成数	90人	10人	1回の講習会を開催したが、10人の参加にとどまり、今後予定している2回の講習会で目標に達することは困難
体験教室数	24回	66回	体験教室を66回開催し、目標を達成
アンケート	日常生活で実践している、健康に気を遣うようになった、また参加したいなど意欲的、好意的な回答が多く得られている。（アンケートの詳細は別紙参照）		

##### ③ 課題と対応策

初級指導士養成のための講習会への参加者が定員まで集まらない。アンケート結果においても、初級指導士になりたいという意見が4%にとどまっていることから、引き続き公民館における体験教室を実施し、PRを継続していくとともに、えんがわや介護予防サポート企業などを活用して普及を行う。

#### (2) のだまめ学校

##### ① 目標の評価方法

- ア 指標となっている、本講座及び出前講座の参加者で事業を評価した。
- イ 「のだまめ学校」の参加者からアンケートをとり、事業の効果を評価する。

##### ② 目標、実績及び自己評価結果（人数は延べ数）

評価項目	目標（年間）	実績	評価
本講座参加者	5,760人	6,165人	目標値5,760人に対して6,165人と目標を達成
出前講座参加者	1,920人	552人	1,920人の目標値に対して552人とどまり、目標に達するのは困難
アンケート	日常生活で実践している、健康への知識が増えた、また参加したいなど意欲的、好意的な回答が多く得られている。（アンケートの詳細は別紙参照）		

##### ③ 課題と対応策

主に保健センターで開講される本講座の参加者は目標値を上回っているが、出前講座は目標値を下回っており、各地域へ講座が広がっていない。

市報、ホームページ、イベントへの参加の他、昨年度実施した「のだまめ学校開校1周年記念事業」等のイベント開催によるPRを継続していくとともに、えんがわや介護予防サポート企業などを活用して各地域への普及を行う。

#### 4 令和元年度の今後の実施予定について

##### (1) シルバーリハビリ体操

###### ① シルバーリハビリ体操初級指導士養成講習会

シルバーリハビリ体操初級指導士（以下「指導士」という。）を5年間で500人養成することを目標に、令和元年度はシルバーリハビリ体操初級指導士養成講習会を3回実施する予定です。

###### ◎指導士の養成スケジュール（表9）

年 度	養成人数	累 計
平成29年度（実績）	83人	83人
平成30年度（ 〃 ）	88人	171人
令和元年度（見込）	90人	261人
令和2年度（ 〃 ）	120人	381人
令和3年度（ 〃 ）	119人	500人

###### ② シルバーリハビリ体操体験教室

シルバーリハビリ体操の普及を目指し、市内各公民館において毎月1回体験教室を実施する予定です。（全132回実施予定）

###### ③ シルバーリハビリ体操教室

シルバーリハビリ体操初級指導士が、活動計画に基づき地域で自主的に体操教室を開催します。（全485回実施予定）

###### ④ シルバーリハビリ体操のフォローアップ研修

指導士を対象にシルバーリハビリ体操のフォローアップ研修を月1回のペースで実施します。（全12回実施予定）

##### (2) のだまめ学校

のだまめ学校は、平成30年度同様、本講座、出前講座及び出前ミニ講座を実施しています。さらに季節に応じた講座の開設や新規参加者を獲得するためのイベントを開催するほか、様々な民間企業による講座を取り入れていく予定です。

◎のだまめ学校実施予定（表 10）

実施事業	実施予定回数
本講座	240 回
出前講座	98 回
出前ミニ講座	24 回

### (3) えんがわ

本年度も引き続き、通いの場「えんがわ」の開設費用、運営費用の補助を行い、開催内容についても、シルバーリハビリ体操教室や、のだまめ学校の出前講座をはじめフレイル予防の取組例を案内するなど、開催内容の充実についても支援していきます。

また、市内 40 か所の開設を目指し、市報で広報するとともに、市ホームページやチラシを活用し、市民へ周知していきます。

### (4) 市民ボランティア

シルバーリハビリ体操指導士会への支援や、のだまめ学校の参加者へボランティア活動を呼びかけます。

また、ボランティアポイント制度の介護支援ボランティアを養成するための説明会を今年度 4 回実施する予定です。事前に市報に掲載し、参加者を募ります。

### (5) 介護予防サポート企業

本年度も引き続き、市の介護予防事業に御協力いただける事業者を募っていきます。

また、御登録いただいた介護予防サポート企業と協力して、のだまめ学校の講座の充実やイベントへの出展などを図っていきます。

### (6) 広報戦略

引き続き、作成したロゴマーク、ポスター及び「介護予防 10 年の計」全体を包括する啓発パンフレットを活用し、市全体に「介護予防 10 年の計」の周知活動を行います。

保健センターが開催する「健康づくりフェスティバル」などの市のイベントに参加し、シルバーリハビリ体操やのだまめ学校を始めとした「介護予防 10 年の計」の普及・啓発活動を行います。

## 指定介護予防支援業務の委託について

野田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例第 15 条第 1 号の規定に基づき、指定介護予防支援業務の委託について、野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会の議を経るものです。

### 【委託を行う指定介護予防支援業務の事業所】

事業者名	事業所名	所在地
ケアウェル安心株式会社	あけぼの介護センター流山	流山市



### 介護医療院の開設許可等について

介護医療院とは、要介護者であって、主として長期にわたり療養が必要である者に対し、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行う平成30年4月から創設された介護保険施設で、平成30年3月末(令和6年3月末まで猶予期間が設けられています。)で廃止されることとなった介護療養型医療施設の転換先とされております。

介護医療院を開設しようとする者は、介護保険法第107条の規定に基づき、千葉県知事の許可を受けることが義務付けられており、6年ごとに許可の更新が必要となります。

この度、千葉県知事から、次のとおり介護医療院の開設許可並びに短期入所療養介護及び介護予防短期入所療養介護の指定について通知がありましたので、報告するものです。

#### 1 介護医療院の開設許可等の状況

1 開設者の名称	医療法人社団葛野会
2 施設の名称	木野崎介護医療院
3 施設の所在地	野田市木野崎1561番地1
4 サービスの種類	介護医療院 短期入所療養介護 介護予防短期入所療養介護
5 入所定員	52人
6 開設許可(指定)年月日	令和元年11月1日
7 許可(指定)の有効期限	令和7年10月31日

#### 2 介護療養型医療施設の廃止

木野崎介護医療院の開設に伴い、木野崎病院の介護療養型医療施設並びに短期入所療養介護及び介護予防短期入所療養介護は、令和元年10月31日をもって廃止となりました。